2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	レジスタンス Resistance	必修選択	必修	年次	1	担当教員	内田 真平
						実務経験	○
コース	コース共通	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年を通じて運動指導者に必要なレジスタンストレーニングのフォーム習得、指導力アップを目指す。前期は主にBIG3（ベンチプレス、デッドリフト、スクワット）のフォーム習得を目指す。演習はただやり方を覚えるのではなく、機能解剖学や運動生理学に基づいた裏付けや身体の仕組みを理解した上で実施する。基本的に2～3人のグループワークやロールプレイングを行ない、運動指導者に必要な基礎も学んでいく。毎回の演習を通じて現場で生かせる様々な理論やテクニックも合わせて紹介するので、安全で効果的なフォームを身につけ、対象部位へ的確に負荷をかけられるようになって欲しい。

実務経験：2005年より市内のフィットネスクラブにて運動指導を開始。パーソナルトレーナーとして10年のフリーランス活動を経て、2018年に「Fitness Support arcs」をオープン。20代から80代の様々な目的を持ったクライアントにマンツーマンで運動指導を行っている。

【到達目標】

レジスタンストレーニングの指導に必要な基礎種目、BIG3を中心としたフォーム習得、そして指導力の向上を目指す。
＜具体的な目標＞
①機能解剖学に基づいた正しいトレーニングフォームでの実演ができるようになる
②エクササイズを機能解剖学的に説明できるようになる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーシ：自己紹介、授業の進め方、評価方法
2回目	大腿・臀部①：大腿部・臀部の機能解剖学の理解、スクワット
3回目	大腿・臀部②：スクワット、ランジ、レッグエクステンション、レッグカール
4回目	胸部①：胸部の機能解剖学の理解、ベンチプレス
5回目	胸部②：ベンチプレス、ダンベル（プレス、フライ）、マシン
6回目	背部①：背部の機能解剖学の理解、デッドリフト
7回目	中間試験（筆記）
8回目	背部②：ベントオーバーロウ、ラットプルダウン、チンニング、プルオーバー
9回目	肩部：肩部の機能解剖学の理解、ショルダープレス、レイズ、アップライトロウ
11回目	腕部：腕部の機能解剖学の理解、アームカール（インクライン、プリチャー）、トライセップスEXT、プレスダウン
10回目	下腿部：下腿部の機能解剖学の理解、カーフレイズ、足部のスタビリティエクササイズ
12回目	腹部・腰背部：腹部・腰背部の機能解剖学の理解、クランチ、シットアップ、サイドベント、アブドミナル、バックEXT、グッドモーニング
13回目	試験対策
14回目	試験
15回目	試験（予備日）、総評
準備学習時間外学習	・自主演習 ・機能解剖学の予習・復習
評価方法	・授業参加率　10% ・中間試験　30% ・期末試験（BIG3のデモンストレーション）　60%
受講生へのメッセージ	レジスタンストレーニングの指導は運動指導者にとって必須です。競技スポーツの現場だけでなく、リハビリなどの医療の現場やフィットネス・セルフコンディショニングなど、様々な場面で必要になってきます。知識・指導力を身につけることで身近な人の役に立てる機会もあるでしょう。実践し理解が深まることで可能性は無限に広がり、様々な職域で「付加価値」になります。演習を通じて身体の変化を体感し、指導に必要な基礎を身につけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：「ぜんぶわかる 筋肉の名前としくみ辞典」・「ぜんぶわかる 骨の名前としくみ辞典」

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	コンピュータ Literacy for Information	必修選択	必修	年次	1	担当教員	井口 恵美里
						実務経験	○
コース	コース共通	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日・4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人として、また企業において必要とされる人材となる為にはコンピュータの基本操作や実践に役立つ書類作成能力・データ処理能力・プレゼンテーション能力が求められます。この授業ではコンピュータの基本的な操作やWord・PowerPoint・Excelの基本的な文書作成及び編集・データ処理ができるスキルを習得していきます。
※実務者経験：1996年4月～2023年現在まで企業及び専門学校等にてIT関連の講義を行う。
指導ソフト：Word・Excel・Power Point・Illustrator・Photoshop 他

【到達目標】

目標①コンピュータの基本操作ができる。
目標②Wordで基本文書作成ができる。
目標③PowerPointでスライド作成や基本的なプレゼンテーション資料の作成ができる。
目標④Excelの基本的なデータ処理ができる。

授業計画・内容	
1回目	Windowsの基本操作・日本語入力の基本操作（Fキー・記号・手書き・変換修正）・フォルダ作成・USB名前変更・データコピー・データ保存ができる。
2回目	Wordの基本操作・文書の入力及び編集ができる。
3回目	定型文書の作成及び編集ができる。①
4回目	簡単な表作成ができる。
5回目	表を含む定型文書作成ができる。
6回目	Wordテスト
7回目	PowerPointの基本操作及びスライドの作成ができる。
8回目	PowerPointにクリップアート・表・グラフ・図形の挿入・修正ができる。
9回目	テーマ・アニメーション・画面切り替え等のスキルを習得し、プレゼンテーションに向けてのスライドの修飾ができる。①
10回目	Excelの基本操作ができる。
11回目	基本的な関数を使用した表作成ができる。①
12回目	基本的な関数を使用した表作成ができる。②
13回目	簡単なグラフ作成ができる。①
14回目	簡単なグラフ作成ができる。②
15回目	Excelテスト
準備学習 時間外学習	授業進度は初心者でも理解できるように進めて行きますので特に準備学習は必要ありませんが、テキスト・USBメモリ等を忘れると授業進度に遅れが生じますので忘れ物が無い様にしてください。
評価方法	実技試験による評価　　90% 授業内評価（理解度・授業内作成課題・理解度・授業態度等）10% 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	卒業後、どのような業界に進んでも社会人としてPCスキルは必要とされます。 在学中にPCスキルを身に付け、将来皆さんが望む業界へ進んだ時に身に付けた技能を役立ててください。 演習の授業形式になりますので、欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶文化学園指定テキスト使用
【COMPUTER BASIC Word】

2023年度 授業概要

学 科 ： スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツ生理学 Exercise Physiology	必修選択	必修	年次	1	担当教員	古賀五月
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

スポーツ生理学は運動を行うことで身体にどのような変化が生ずるのか、その現象としくみを理解する学問である。他のスポーツ系の授業の基礎とも言える。この授業を理解することによって、運動指導者としてクライアントへなぜヒトは運動をしなければならないのか、運動を行うことでどのようなことが身体の中で起こり、様々な変化を遂げていくのか科学的根拠に基づいて指導ができるようになる。

【到達目標】

運動指導者に必要なスポーツ生理学の基本的な知識を習得し、科学的根拠に基づいて説明が出来る。

目標①骨格筋についての詳しい説明（構造・特徴・収縮様式など）が出来る。

目標②エネルギー供給系についての説明が出来る。

目標③骨格筋と神経系の関わりについて説明が出来る。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	（目標①）骨格筋の構造についての説明が出来る。
3回目	（目標①）筋収縮の仕組みについての説明が出来る。
4回目	（目標①）筋線維の種類とその特徴について説明が出来る。
5回目	（目標①）筋の収縮様式についての説明が出来る。
6回目	（目標①）筋力を決める要因についての説明が出来る。
7回目	中間試験
8回目	（目標②）アデノシン三リン酸についての説明が出来る。
9回目	（目標②）無酸素性機構についての説明が出来る。
10回目	（目標②）有酸素性機構についての説明が出来る。
11回目	（目標③）神経系の構造について説明が出来る。
12回目	（目標③）自律神経系について説明ができる。
13回目	（目標③）神経系の働きと役割、および運動との関連について説明が出来る。
14回目	期末試験
15回目	返却・回答解説
準備学習 時間外学習	各目標毎、およそ2～4回にわたっての関連した授業になるため予習と復習が必要です。また骨格筋やトレーニングについての話がありますので個人でトレーニングを行うことでより授業の理解度が深まります。
評価方法	2回の定期試験によって知識の到達評価を行う。（中間試験50%　期末試験50%）
受講生へのメッセージ	現場で運動指導者として働いていくために知識と技術が必要となります。特に知識は科学的根拠に基づく説明が出来るとクライアントへの説得力が上がります。　ぜひ苦手意識を持たず、積極的に取り組んでほしいと思っております。そのためにもどの授業もそうですが体調管理に気をつけ、欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会リファレンスブック

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	ボディケア Technique of Body Care	必修選択	必修	年次	1	担当教員	久保 智之
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日・2時限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ボディケアは、スポーツでのピークパフォーマンス発揮に作用するフィジカルコンディショニングの1つである。ハードなトレーニングと同じだけリカバリーが必要になる。スポーツ選手に関わるトレーナーにとって、ボディケアは必須の技術であり、効果のあるテクニックを習得しなければならない。機能的解剖学で学習した筋骨格をイメージしながら、スポーツマッサージ、ストレッチを中心に実習を行う。また、スポーツ傷害のメカニズムを理解し、本授業終了時には、ボディケアの目的、方法、効果が説明できるようになる。
※実務者経験：2004年～現在まで福岡工業大学ラグビー部メディカルトレーナとして活動。
主業務は選手のボディケア、アスレティックリハビリテーション、試合帯同。

【到達目標】

スポーツマッサージ、ストレッチを行うための基本的な知識と方法を修得する。スポーツマッサージの効果、目的、禁忌を理解し、リカバリーとして行うスポーツマッサージ、ストレッチの実習を行う。
＜具体的な目標＞
①スポーツマッサージ、ストレッチの基本手技の効果、方法が説明できる。
②スポーツマッサージの基本手技（軽擦法、強擦法、揉捏法、圧迫法、叩打法、震戦法）を行える。
③部位別のスポーツマッサージ、ストレッチを行える。

	授業計画・内容
1回目	コンディショニングとは （目標） コンディションの構成要素、コンディショニングの方法について説明ができる。
2回目	スポーツマッサージの基礎知識 （目標） スポーツマッサージの効果、目的、禁忌について説明ができる。
3回目	スポーツマッサージの基本手技1 （目標） スポーツマッサージの基本手技の効果、方法が説明できる。
4回目	スポーツマッサージの基本手技2 （目標） スポーツマッサージの基本手技の実習を行う。
5回目	頭部、頚部のマッサージ （目標） 頭部、頚部のスポーツマッサージの実習を行う。
6回目	肩のマッサージ （目標） 肩関節のスポーツマッサージ、モビライゼーションの実習を行う。
7回目	腰背部のマッサージ （目標） 腰背部のスポーツマッサージ、脊柱モビライゼーションの実習を行う。
8回目	殿部、大腿部のマッサージ （目標） 殿部、大腿部のスポーツマッサージ、股関節モビライゼーションの実習を行う。
9回目	下腿部、足部のマッサージ （目標） 下腿部、足部のスポーツマッサージ、膝・足関節、足部モビライゼーションの実習を行う。
10回目	上腕部、前腕部、手部のマッサージ （目標） 上腕、前腕、手部のスポーツマッサージ、肘・手関節、手部モビライゼーションの実習を行う。
11回目	症状別スポーツマッサージ （目標） 腰痛、膝痛、肘痛の対応を説明できる。
12回目	セルフマッサージ （目標） 自分自身で体のコンディションがチェックできる。
13回目	セルフストレッチ、パートナーストレッチ （目標） ストレッチの実習を行う。
14回目	前期テスト
15回目	テスト返却、解説
準備学習時間外学習	（目標①）骨格筋の名称、位置、起始・停止の予習が必要。 （目標②）骨の位置、名称、関節の構造の予習が必要。 （目標③）スポーツ傷害の原因、発生メカニズム、対処法について予習が必要。
評価方法	定期テスト（100%） 筆記
受講生へのメッセージ	トップアスリートになるほど身体のメンテナンスには敏感になっており、コンディショニングはトレーニング、栄養補給と同じくらい重要なものに位置付けられています。スポーツマッサージは、ピークパフォーマンスに作用するだけでなく、疲労回復、ケガの予防など多くの効果があります。、スポーツ現場では絶対に必要な技術です。 機能的解剖学、スポーツ医学の内容も含めた授業を行います。

【使用教科書・教材・参考書】

講義資料を配布

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	コミュニケーションスキルアップ Communication Skill	必修選択	必須	年次	1	担当教員	中村元洋・坂井桃子
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コース共通				2	曜日・時限	火曜日・3限目

【授業の学習内容】

コミュニケーションの基礎を身につけるために、コミュニケーションスキルアップ検定の内容を勉強し、ご横隔を目指す。過去問題や練習問題を使い授業を進める。

実務経験：専門学校にて、コミュニケーション・就職講座の講師に従事。

【到達目標】

コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・コミュニケーションの定義と領域
2回目	コミュニケーションの種類・正しい挨拶の基本
3回目	基本的対話スキル　①プロセス。聞くの基本、質問の仕方
4回目	〃　②話す基本、気持ちや考え方の交換
5回目	自己表現スキル　①挨拶、自己紹介、相手との関係を深める
6回目	〃　②上手な頼み方、断り方、自己主張の仕方
7回目	〃　③仕事の基本、話すをわかりやすく伝える方法、交渉、説得
8回目	〃　④プレゼンテーション、アンガーマネジメント
9回目	社会的スキル　①敬語
10回目	社会的スキル　②電話応対、接客マナー
11回目	社会的スキル　③訪問、謝罪　④文書　過去問題
12回目	過去問題
13回目	過去問題
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習時間外学習	
評価方法	筆記テスト100%
受講生へのメッセージ	全員合格目指して頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度 授業概要

学 科 ： スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Bレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	1	担当教員	Burns Matthew
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日4限目・木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日常生活での情報・説明やまとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明・用件を伝えることができる。

【到達目標】

相手に質問をする。また質問に答えることができる。自己紹介をし、知り合いになることができる。
親戚へのメールを読む、また書くことができる。
自分の持ち物について述べることができる。ネット広告を読む、また書くことができる。
助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。
ビル内の道順を尋ねる。また教えることができる。求職申し込みを読む、申込書を書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
2回目	「間接疑問文」を使って、人に質問をする。また質問に答える練習をする
3回目	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
4回目	誰かと知り合いになるためのメールを書く
5回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるために必要なこと」・前期発表と連動する内容
6回目	現在進行形を使って持ち物について話す
7回目	現在完了形を使って持ち物やその機能などについて話す
8回目	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使ってディスカッションをする
9回目	欲しいものについての広告を書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「出かける時の持ち物について」・前期発表と連動する内容
11回目	冠詞に注意しながら、自分の町について尋ねる、また質問に答える練習をする
12回目	[would/could/should]を使って、他の場所への生き方について話す
13回目	建物内の道案内の場面での会話を練習する
14回目	求人に対して志望動機を書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」・前期発表と連動する内容
準備学習 時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 3

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Cレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	1	担当教員	金子知恵・Dong Enling Joyce
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日4限目・木曜日3限目
コース	コース共通						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。
毎日していることについて話すことができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。
今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	be動詞、代名詞の所有格を使って、知人・家族について話す
2回目	「～のもの」を表す表現を使って、所有物について話す
3回目	挨拶をして会話を始める練習をする、興味や驚きを表す表現を練習する
4回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
5回目	Time to Speak：スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて」・前期発表と連動する内容
6回目	[Wh-question]を練習する。一般動詞の疑問文、否定文を使って、習慣・ルーティンについて質問する、返答する
7回目	指示代名詞を使って、仕事や勉強をする空間について話す・質問する
8回目	意思疎通に問題があったことを説明する、繰り返しを求める表現を練習する
9回目	ポッドキャストについての意見を読む、書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」・前期発表と連動する内容
11回目	「現在進行形」を使って、今まさに起こっていることについて話す
12回目	「現在進行形」「現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す
13回目	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
14回目	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る」・前期発表と連動する内容
準備学習時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 2

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Dレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	1	担当教員	奥井裕紀子・吉崎かをる
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日4限目・木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【到達目標】

個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。
友達や家族について表現することができる。友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。
家や家具について話すことができる。ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
2回目	疑問代名詞[What]を使って、自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
3回目	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
4回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
5回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と連動する内容
6回目	be動詞を使って、家族構成について話す
7回目	be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する
8回目	年齢や誕生日について聞く、話す
9回目	写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と連動する内容
11回目	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、自分の家について話す
12回目	[it is]を使って、家具について話す
13回目	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する
14回目	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「新居の家具を選ぶ」・前期発表と連動する内容
準備学習時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	コーチング論 Instruction and Coaching	必修選択	必須	年次	1	担当教員	井口　大
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	水曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、社会構造や社会状況が年々変化し、指導者（コーチ）には多くの役割が求められるようになってきました。
そうした中で、指導者にとって最も大切な役割は何でしょうか。それは一生懸命プレーする選手や子どもたちが楽しくプレーできるようにサポートすることや、目標達成するためのサポートをする役割があります。 また、楽しくプレーすることは、上達にもつながりますし、困難を乗り越えることにもつながります。
この授業では、日本サッカー協会公認D級ライセンス／C級ライセンスの内容をベースに授業をおこない、指導者としての基礎学ぶ。

【到達目標】

コーチが持たなければならない技術と知識の中で「コーチング」を講義と実技の中で修得する。特に指導実践では、「コーチとしての立ち振る舞い」や「いつミスが起こり」、「そのミスをどう改善するのか」など、選手たちを成長させる技術・知識を含めた授業を行う。
＜具体的な目標＞
・テーマに合ったメニューの作成（誰が見ても分かりやすい指導案の作成）
・ルールを簡潔に説明できる。　・自分が作った練習メニューの意図
・狙いが明確に言える。　・デモンストレーションを効果的に活用できる。

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。 前期に作成した指導案の見直しをする。（更にブラッシュアップさせる。）
2回目	日本サッカーC級ライセンスより、プレーの原則
3回目	実技テーマ：ドリル （ボールマスタリー・シュート・パス＆コントロール・フェイント）
4回目	実技テーマ：対面 （1 対 1 ・ 2 対 2 ・ 複数 対 複数）
5回目	実技テーマ：守備 （ボールを奪う ・ ゴールを守る）
6回目	実技テーマ：ポゼッション（ゴールを奪う ・ ゴールを目指す）
7回目	実技テーマ：さまざまなゲーム
8回目	実技テーマの振り返り
9回目	後期 指導実践ガイダンス
10回目	後期 指導実践（テスト：3名）
11回目	後期 指導実践（テスト：3名）
12回目	後期 指導実践（テスト：3名）
13回目	後期 指導実践（振り返り）
14回目	コーチが持たなければならない技術と知識
15回目	後期　総評
準備学習時間外学習	可能であれば、Jリーグや海外リーグをTV等で観てサッカーに触れてほしい。
評価方法	テストは、指導実践（実技）を行い評価する。 ○実技指導案の作成（10%） ○指導実践（70%） ○授業への取り組み（20%）
受講生へのメッセージ	・実技が主な為、体調を整えて出席すること。・人数が13名ということもあり、一人でも多く欠席者がいると、トレーニングメニューの変更や指導実践に支障をきたす場合があるので、欠席しないように気を付けてください。 ・D級コーチ,C級コーチライセンスの内容を受け指導実践など経験することで、選手へ伝える楽しさや難しさを肌で感じ、この経験は様々な競技や社会に役に立てる内容と思います。是非積極的に取り組んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

実技の場合：サッカーボール・マーカーコーン・ゼッケン
講義の場合：プロジェクター

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	機能的解剖学 Functional Anatomy	必修選択	必修	年次	1	担当教員	福田　智
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	水曜日・2限目

【授業の学習内容】　※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する

機能的解剖学は解剖学と運動学を中心とした授業となる。運動指導をする上で解剖学と運動学は基本となる教科となる。
解剖学では筋肉・腱・骨・関節を把握し、運動学では日常生活・スポーツ場面での動作・姿勢の説明ができるようになる。

＊実務者経験：医療の臨床現場で27年間、理学療法をする。
手術見学、医師とのカンファレンスにて機能的解剖学を学ぶ。

【到達目標】

目標①全身の筋肉、腱、骨、関節などの名称や部位を説明できる。
目標②筋肉の働きを日常生活・スポーツ場面で説明ができる。

授業計画・内容	
1回目	筋肉と骨との役割が説明できる
2回目	（目標①②）足周囲の解剖と運動について説明できる
3回目	（目標①②）膝周囲の解剖と運動について説明できる
4回目	（目標①②）股周囲の解剖と運動について説明できる
5回目	（目標①②）骨盤帯の解剖と運動について説明できる
6回目	（目標①②）肩甲帯の解剖と運動について説明できる
7回目	（目標①②）肩周囲の解剖と運動について説明できる
8回目	（目標①②）肘周囲の解剖と運動について説明できる
9回目	（目標①②）手周囲の解剖と運動について説明できる
10回目	（目標①②）体幹前面の解剖と運動について説明できる
11回目	（目標①②）体幹後面の解剖と運動について説明できる
12回目	（目標①②）頚部の解剖と運動について説明できる
13回目	まとめ　全身の解剖と運動について説明できる
14回目	筆記試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	主な骨・筋肉の解剖学と、動作・姿勢に繋がる運動学について予習が必要です。
評価方法	各部位にて運動指導に繋がるように、筋肉・腱の名称と働きを把握する。 骨・関節・靭帯などの名称・部位を把握する。
受講生へのメッセージ	運動指導をする上で基本となる機能的解剖学は、1つ1つ地道に覚える事が大切です。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：ぜんぶわかる筋肉の名前としくみ辞典　　ぜんぶわかる骨の名前としくみ事典
参考書：教科書で分かりにくい部位を参考資料として、毎回配布

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	フィットネスエクササイズ Fitness Exercise	必修選択	必修	年次	1	担当教員	平塚　泉
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	水曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

このクラスでは、スポーツクラブ（民間）で行われているエアロビックダンスエクササイズを中心に「健康・体力づくり」の為に必要な運動の基本を体験して貰う。 音楽に合わせて身体を動かし純粋に楽しんで貰う事により、グループ指導や将来インストラクターとしての職種に興味を持ってもらえる様な内容で行う。クラス構成は「エアロビックダンスエクササイズ」「レジスタンストレーニング」「ストレッチ」で指導者として必要なフィジカル面の強化・維持も図る。
実務経験：1998年5月～現在（株）スポーツクラブでインストラクターとしてレギュラーレッスンを担当,現在はフリーランスとして活動中。

【到達目標】

グループレッスンの特徴を感じて貰い、集団指導の楽しさを感じて貰らう。
＜具体的な目標＞
目標①エクサササイズの目的（健康・体力づくり）を理解し、自らが効果を出せる身体づくりができる。
目標②自らが体験した運動の効果（行動体力である柔軟性や巧緻性など）を自己判断出来るようになる。
目標③グループレッスンの特徴や特異性を自ら感じる事ができる。

授業計画・内容	
1回目	（目標①）オリエンテーション（自己紹介） リズム・音楽について
2回目	（目標①）フィットネスEXの目的（健康・体力づくりの運動）を理解し、他のメンバーと共有できる。（実技：ベーシックビギナーストレッチ1）
3回目	（目標①）健康づくりの運動について説明ができる　（実技：ベーシックビギナー　ストレッチ2）
4回目	（目標①）体力について理解とその運動の目的を確認　（実技：ビギナー① 50分　コンディショニング1）
5回目	（目標②）エアロビックダンスの特徴の確認（実技：ビギナー② 50分　コンディショニング2）
6回目	（目標②）運動強度と変換方法を理解し実施する事が出来る　（実技：ビギナー③ 50分 コンディショニング3）
7回目	（目標②）運動強度の変換方法を自らがレッスン中に行い調整できるする事ができる。（実技：ロー 50分 コンディショニング4）
8回目	（目標②）骨格筋についての理解とストレッチの重要性について説明できる（実技：ロー 50分 コンディショニング5）
9回目	（目標③）実技：エアロビックダンスエクササイズ60分
10回目	（目標③）実技：エアロビックダンスエクササイズ60分
11回目	（目標③）実技：エアロビックダンスエクササイズ60分
12回目	（目標③）実技：エアロビックダンスエクササイズ60分
13回目	テスト準備（基本ステップ4種目の説明と実技テスト内容説明）
14回目	実技試験
15回目	レッスン
準備学習時間外学習	（目標①）前提：運動生理学や体力学について予習があると効果的な運動になります。 （目標②）骨格筋や解剖学等の講義の復習があると安全に授業を行う事ができます。
評価方法	ストレッチ、エアロビックダンスエクササイズ、コンディショニングの何れかの実技試験 ●実技テスト（80%） ●レポート試験（フィットネスエクササイズについて）（10%） ●授業内評価(10%)　以上の割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	魅力：この授業では民間のフィットネスクラブではもっともニーズの高い「スタジオレッスン」を体験出来ます。先ず自身の体力づくりを図り、集団で運動を音楽に合わせて行う楽しさを感じてください。週に一度一緒に汗をかいて元気に身体を動かしていきましょう。 授業計画：この授業で身に付ける「実践力」は「経験値」が物を言います。その必要な技術は毎回の授業で少しずつ養う事が出来ます。体調管理に充分気をつけて出来るだけ欠席のない様にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	体力測定法 Physical Fitness Test	必修選択	必修	年次	1	担当教員	古野透
						実務経験	
コース	コース共通	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

体力測定は今も様々な現場で活用されており、アスリートだけでなく子どもから高齢者まで広く浸透している。その体力測定の意義や目的をまずは理解する。
測定方法や評価方法についても学び、最終的にはどういった方にも的確な評価がおこなえる実践力を身につける。

【到達目標】

目標①：体力測定の意義を理解する
目標②：体力測定の方法と評価を理解する
目標③：的確な評価説明ができる実践力を身につける

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、体力の概念を理解する
2回目	測定と評価とは何かを知る
3回目	新体力テストの成り立ち・体力水準、新体力テストの実際①（握力測定、上体起こし、長座体前屈）
4回目	新体力テストの実際②（反復横跳び、20mシャトルラン、持久走、急歩、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール・ハンドボール投げ）
5回目	年代別得点表と平均をもとにした評価（６歳～64歳）
6回目	高齢者（65～79歳）に対する新体力テストの方法と注意点①
7回目	高齢者（65～79歳）に対する新体力テストの方法と注意点②
8回目	その他高齢者に対する測定項目
9回目	測定の準備（グループワーク）
10回目	体力測定を実際に行う①　※体育館または屋上使用（予定）
11回目	体力測定を実際に行う②　※体育館または屋上使用（予定）
12回目	体組成の見方と評価
13回目	試験対策（総復習）
14回目	試験
15回目	回答用紙返却、解説
準備学習時間外学習	・授業内容の復習 ・人とのコミュニケーション能力
評価方法	・前期/定期テスト100%
受講生へのメッセージ	体力測定は全年代、広範囲で行われています。特に一般の方に対する測定と評価はほとんどのトレーナーが経験します。現場で活用ができるよう興味を持って取り組んでみてください。また、JATIトレーニング指導者や健康運動実践指導者などの資格対策にも関わる大切な科目であることも覚えていてください。

【使用教科書・教材・参考書】

・JATIトレーニング指導者理論編・実践編テキスト
・健康運動実践指導者テキスト
・握力計、柔軟性測定機器、メジャー

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	ゲーム分析 Game Analysis	必修選択	必修	年次	1	担当教員	吉満　寛
						実務経験	
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	プロスポーツAIトレーナー					曜日・時限	木曜日・2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

2020年10月から現在に至るまで、東福岡ラグビー部でGPS計測とデータ分析を担当する。
GAME分析の歴史や歩みを知り、sportsanalystが使用する最新機器やソフトについて学び、また日本を代表するデータ分析会社やアナリストなどを業界について理解する。本講義の最終目標としては、GPS計測ができ、スタッツを編集し、分析を通して数値から読み解けるものを、1つでも習得できるようになる。 analystとは何かについて、自身で説明ができるようになる。

【到達目標】

1. 分析の歴史と歩みを知る。
2. 最新の機器、アナライズの動向を理解する。
3. KNOW(GPS)の計測ができる
4. 分析を繰り返し実践し、経験値を積む
5. アナライズとは何かを説明できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	スポーツ×データ可能性
2回目	スポーツ×データ可能性
3回目	GPSトラッキングについて
4回目	GPS使用方法
5回目	GPS計測とスタッツ
6回目	実践計測(学内)～ログアップロード
7回目	データ取得～統計タブ確認～基本データ分析
8回目	実践計測(選手)データ準備～取得①
9回目	分析演習とディスカッション①
10回目	実践計測(選手)データ準備～取得②
11回目	分析演習とディスカッション②
12回目	分析演習とディスカッション③
13回目	分析演習とディスカッション④
14回目	テスト
15回目	フィードバック
準備学習時間外学習	特になし
評価方法	レポート提出　100%
受講生へのメッセージ	現場活動に積極的に参加していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツビジネス （ Sports Business ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	黒田 次郎
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	スポーツマネジメントテクノロジー					曜日・時限	木曜日・2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現代社会においてオリンピック、サッカーワールドカップ、プロ野球・Jリーグ、Bリーグなどスポーツは多くの人々の中で広く親しまれ、また市場規模においても、スポーツ産業は世界各国で成長産業として進化が期待されています。
2020年の東京オリンピック・パラリンピック後、スポーツが大きな産業として経済活性化への期待が高まる中、スポーツマネジメントとはどのような概念・定義を持ち、スポーツの場面でどのような機能と役割を果たすことができるのか。本科目ではスポーツ産業界で活躍するために必須となる基礎知識や能力を修得します。

【到達目標】

・スポーツマネジメントの基礎的な概略を知る
・スポーツ産業の歴史、動向、市場規模を知る
・スポーツマーケティング、スポンサーシップ、スポーツブランドの定義とその特性を知る
・スポーツイベントのプロデュース方法を知る
・プロスポーツビジネスの概略とスポーツの経済効果を知る

授業計画・内容	
1回目	授業全体の構成、進め方、評価についての説明 オリエンテーション
2回目	スポーツマネジメントの概念、定義、スポーツ産業の概念と市場規模について説明ができる。
3回目	スポーツ産業の過去・現在・未来について説明ができる。
4回目	スポーツマーケティングの構造について説明ができる。
5回目	スポーツイベントのマネジメント：オリンピック、サッカーW杯、地域活性化イベント等の事例紹介を知る。
6回目	スポーツ組織のマネジメント：各競技団体の組織の概略及び意思決定プロセスについて説明ができる。
7回目	スポーツクラブのマネジメント：総合型地域クラブ、民間スポーツクラブに関する課題について説明ができる。
8回目	1回から7回のまとめ
9回目	スポーツブランドについて：各メーカーのプロモーション戦略、事例紹介を通して説明ができる。
10回目	スポンサーシップについて：歴史的変遷と現状、オリンピックスポンサー等の事例紹介を通して説明ができる。
11回目	日本のプロスポーツについて：プロスポーツの分類、スポーツ選手の社会貢献活動、CSRについて説明ができる。
12回目	日本のプロスポーツについて：ドラフト制度について説明ができる。
13回目	日本のプロスポーツについて：プロスポーツ選手の生涯賃金とセカンドキャリアについて説明ができる。
14回目	アメリカ、ヨーロッパのプロスポーツビジネスについて：4大スポーツと欧州の比較について説明ができる。
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	日頃のスポーツ情報に対して注視すること。配布された資料は復習の参考とすること。
評価方法	期末テスト80%、レポート10%、演習10%
受講生へのメッセージ	本科目を受講する学生は、スポーツ産業にかかわる様々な事柄に問題意識を持ち、積極的に自ら学ぶ習慣を身につけてほしい。 また、昨今、スポーツ界を見渡すと国境ボーダレスになっています。 このような状況下、国際感覚を磨き、スポーツ産業界でリーダーになりたいという学生を希望する。

【使用教科書・教材・参考書】

黒田次郎、石塚大輔、萩原悟一編：スポーツビジネス概論4、叢文社

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	コンディショニング Conditioning	必修選択	必修	年次	1	担当教員	谷口　貴隆
						実務経験	○
コース	コース共通	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

運動指導を実施する際に、『ウォーミングアップ』は怪我の予防や運動パフォーマンスの向上のために、『クーリングダウン』はトレーニングや試合で蓄積した疲労を速やかに回復させるためにとても重要です。このコンディショニングの授業は実技を中心にストレッチングや器具を使わない体幹エクササイズ、神経系のトレーニングなどを学び、繰り返し実践することで基本的な動作を習得できることを目的とします。
実務経験：小中高生を中心に身体作りに関するトレーニング指導・運動指導を19年

【到達目標】

ウォーミングアップやクーリングダウンの理論を学び、トレーニングを繰り返し実践して習得する。
(具体的目標)
目標①　ストレッチングの種類を区別して、部位別に正しいストレッチングができる
目標②　体幹エクササイズが部位別、目的別に正しい姿勢でてきる
目標③　運動を実践することで、体を動かすことに興味を持つ

授業計画・内容	
1回目	コンディショニングの広義的な意味や方法を説明できる
2回目	動的ストレッチング①ができる
3回目	動的ストレッチング②ができる
4回目	動的ストレッチング③ができる
5回目	動的ストレッチング④ができる
6回目	静的ストレッチング①ができる
7回目	静的ストレッチング②ができる
8回目	中間テスト（筆記）　　テストの振り返り
9回目	自体重トレーニング①ができる
10回目	自体重トレーニング②ができる
11回目	自体重トレーニング③ができる
12回目	自体重トレーニング④ができる
13回目	テスト対策
14回目	期末テスト（実技）
15回目	総合演習
準備学習 時間外学習	自分自身がトレーニングを実践して、そのトレーニングを理解し、体にどのような変化が起こるのかを知ることが重要です。 授業以外でもトレーニングをする習慣を作ると、授業内容も理解しやすくなります。
評価方法	中間テスト(筆記)40%＋期末テスト(実技)50%＋授業準備(服装や室内シューズなど)10%　　合計100%
受講生へのメッセージ	ウォーミングアップとクーリングダウンは、運動を効果的に続けるためにとても大切です。授業では一緒に体を動かしながら楽しみましょう！！ 普段の生活では、睡眠をしっかりとり、朝食も必ず摂るようにして体調には気を配りましょう。これもコンディショニングの一環です。

【使用教科書・教材・参考書】

『トレーニング指導者テキスト　実技編』

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	コーチング Coaching	必修選択	必須	年次	1	担当教員	井口　大
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	金曜日1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、社会構造や社会状況が年々変化し、指導者（コーチ）には多くの役割が求められるようになってきました。
そうした中で、指導者にとって最も大切な役割は何でしょうか。それは一生懸命プレーする選手や子どもたちが楽しくプレーできるようにサポートすることや、目標達成するためのサポートをする役割があります。 また、楽しくプレーすることは、上達にもつながりますし、困難を乗り越えることにもつながります。
この授業では、日本サッカー協会公認D級ライセンス／C級ライセンスの内容をベースに授業をおこない、指導者としての基礎学ぶ。

【到達目標】

コーチが持たなければならない技術と知識の中で「コーチング」を講義と実技の中で修得する。特に指導実践では、「コーチとしての立ち振る舞い」や「いつミスが起こり」、「そのミスをどう改善するのか」など、選手たちを成長させる技術・知識を含めた授業を行う。
＜具体的な目標＞
・テーマに合ったメニューの作成（誰が見ても分かりやすい指導案の作成）
・ルールを簡潔に説明できる。　　・自分が作った練習メニューの意図
・狙いが明確に言える。　　・デモンストレーションを効果的に活用できる。

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス（D級ライセンスより、サッカー協会の取り組み、ライセンス制度、育成ビジョンなど。）
2回目	D級ライセンスより（コーチの仕事・コーチングの目的・女子サッカー・発育発達と一貫指導）
3回目	実技テーマ：ドリル （ボールマスタリー・シュート・パス＆コントロール・フェイント）
4回目	実技テーマ：対面 （1 対 1 ・ 2 対 2 ・ 複数 対 複数）
5回目	実技テーマ：守備 （ボールを奪う ・ ゴールを守る）
6回目	実技テーマ：ポゼッション（ゴールを奪う ・ ゴールを目指す）
7回目	実技テーマ：さまざまなゲーム
8回目	実技テーマの振り返り
9回目	後期 指導実践ガイダンス／指導案の作成
10回目	後期 指導実践（テスト：3名）
11回目	後期 指導実践（テスト：3名）
12回目	後期 指導実践（テスト：3名）
13回目	後期 指導実践（テスト：4名）
14回目	後期 指導実践（振り返り）
15回目	後期　総評
準備学習時間外学習	・可能であれば、Jリーグや海外リーグ、日本代表戦などを観てサッカーに触れてほしい。 ・Jリーグが開幕したので、直接スタジアムに足を運んで、試合、ウォーミングアップなど現場の雰囲気や活動を見てほしい。
評価方法	テストは、指導実践（実技）を行い評価する。 ○実技指導案の作成（10%） ○指導実践（70%） ○授業への取り組み（20%）
受講生へのメッセージ	・実技が主な為、体調を整えて出席すること。・人数が13名ということもあり、一人でも多く欠席者がいると、トレーニングメニューの変更や指導実践に支障をきたす場合があるので、欠席しないように気を付けてください。 ・D級コーチ,C級コーチライセンスの内容を受け指導実践など経験することで、選手へ伝える楽しさや難しさを肌で感じ、この経験は様々な競技や社会に役に立てる内容と思います。是非積極的に取り組んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

実技の場合：サッカーボール・マーカーコーン・ゼッケン
講義の場合：プロジェクター

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	ゲーム分析 Game Analysis	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	藤井　透
						実務経験	
コース	プロスポーツAIトレーナー	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日・4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

映像撮影、キャプチャー、管理、分析共有の知識とオペレーションを習得、アナリストに求められるスキルを習得、分析基礎知識を学ぶ。

【到達目標】

アナリストに必要な知識と技能を学び、競技現場でチームをサポートできる実践力を培う。ダートフィッシソフトウェアの分析ソフトウェアを通じて、スポーツアナリステックスを理解する。

授業計画・内容	
1回目	スポーツパフォーマンス分析入門
2回目	ライブキャプチャーについて学ぶ
3回目	映像の管理、再生、共有
4回目	動作分析のアプローチ　基礎
5回目	動作分析のアプローチ　基礎比較
6回目	動作分析のアプローチ　データの表示と評価
7回目	高度な比較映像の分析
8回目	高度な軌跡映像の分析
9回目	ゲーム分析のアプローチ　基礎 動作分析とゲーム分析の違い、ゲーム分析におけるパフォーマンス分析
10回目	タギングパネルの作成と設定　イベントデータをスマートデータへ表示
11回目	ゲーム分析結果のプレゼンテーション、モンタージュを学ぶ
12回目	ゲーム分析の実践
13回目	3Dアナライザーの設定、実践
14回目	分析プレゼンテーション作成
15回目	成果発表とテスト
準備学習時間外学習	
評価方法	授業内評価
受講生へのメッセージ	パソコン、スマートフォンを使用しますが、重要な要点はメモをとること。

【使用教科書・教材・参考書】

myDartfishProS

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	マーケティング marketing	必修選択	選択	年次	2	担当教員	秋葉優美
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	スポーツマネジメントテクノロジー					曜日・時限	月曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングとな何か、なぜマーケティングの知識が必要なのか理解し、演習を通じて出店計画、商品化計画、プロモーション計画、ディスプレイ計画ができるようになる。また、売上の収支構造を理解した上での店舗オペレーションや店舗出店計画も立てられるようになる。
実務者経験：東京六本木にある複合商業施設「東京ミッドタウン」のマネジメント会社（三井不動産グループ　東京ミッドタウンマネジメント株式会社）にて、約7年間、店舗運営管理、店舗営業、イベント立案など様々な実務を経験。

【到達目標】

目標①商圏・立地について理解し、出店計画を立てることができる。
目標②商品化計画ができるようになる。
目標③店舗のプロモーション計画ができるようになる。
目標④売り場づくりに必要なディスプレイ計画ができるようになる。
目標⑤売上収支を踏まえた出店計画ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	マーケティングとは何かについて説明することができる
2回目	メーカーと小売業のマーケティングの違いを説明することができる
3回目	商圏について理解し、説明することができる
4回目	商圏、立地を鑑み、出店計画を立てることができる
5回目	マーケティングの視点に立ち、商品化計画ができるようになる
6回目	プロモーションの概要と種類について説明することができる
7回目	プロモーション計画を立てることができる
8回目	【中間テスト】出店計画・・商品化計画・プロモーション計画に関するテスト
9回目	売り場づくりに必要なディスプレイ手法を理解し、説明することができる①
10回目	売り場づくりに必要なディスプレイ手法を理解し、説明することができる②
11回目	商品の価格設定について理解し、説明することができる
12回目	小売店の利益構造を知り、売上収支を計算することができる
13回目	売上収支を踏まえた出店計画を立てることができる
14回目	【期末テスト】売上収支を踏まえた出店計画、ディスプレイ計画に関するテスト
15回目	期末テストの振り返りと総まとめ
準備学習 時間外学習	皆さんの好きなお店について考えてきてください。その際「なぜ好きなのか」「なぜもう一度行きたいのか」をお客様目線に立ち、お店に行くきっかけや理由を考えてみましょう。
評価方法	授業内に実施する演習実践30% 中間テスト30% 期末テスト40%
受講生へのメッセージ	お店づくりや出店には「マーケティング」の視点が必要です。皆さんもお客様視点に立つと、お店に「なぜ行きたいと思うのか」が分かってくるかと思います。その視点を大切にしながら、集客できるお店づくりや商品化計画、イベント計画、出店計画を楽しく学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

販売管理論　入門

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	健康管理概論 Health Care Theory	必修選択	必修	年次	2	担当教員	市丸 直人
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	後期
コース	共通					曜日・時限	月曜日・2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

中高年者や高齢者を対象とした運動指導の場合、生活習慣病の理解は不可欠である。生活習慣病の病態とその予防法に関する知識を系統立てて理解し、個々の健康状態に応じて対処できる運動指導者となれるよう質の向上を図る。健康確認票などを通して、自身の生活習慣についての関心を高めるとともに、一方通行にならないようにできるだけ運動指導現場での実例をもとに解説する。

【到達目標】

生活習慣と疾患との関連を理解し、生活習慣病患者やその予備群に対してその危険性を回避した適切な運動指導ができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、健康管理ノートの付け方、健康・体力の定義や高齢化社会について説明できるようにする。
2回目	生活習慣病1、高血圧症、高血圧　血圧の意味、正常値と異常値、高血圧のタイプについて説明できるようにする。
3回目	生活習慣病2、糖尿病、2種類の糖尿病について説明できるようにする。
4回目	生活習慣病3、メタボリック・シンドロームについて説明できるようにする。
5回目	メンタルヘルスと心の病気について説明できるようにする。
6回目	生活習慣病などの運動療法1、健康・体力についての復習と総括、運動との関連について説明できるようにする。
7回目	生活習慣病などの運動療法2、有酸素運動との関連について説明できるようにする。
8回目	生活習慣病などの運動療法3、ウォーキングなどの軽い有酸素運動との関連について説明できるようにする。
9回目	生活習慣病などの運動療法4、筋力トレーニングなど比較的強い強度の運動との関連について説明できるようにする。
10回目	生活習慣病などの運動療法5、SAQトレーニングなどの俊敏な運動との関連について説明できるようにする。
11回目	生活習慣病などの運動療法6、1RMなど最大筋力に近い運動との関連について説明できるようにする。
12回目	生活習慣病などの運動療法7、柔軟性などの運動との関連について説明できるようにする。
13回目	これまでの復習を行なう。
14回目	試験を行なう。
15回目	試験を返却し、答え合わせを行う。授業のまとめを行なう。
準備学習時間外学習	健康管理ノートへの記録を通して自身の生活習慣に対する関心を深める。
評価方法	筆記試験（70%）、授業内演習評価（15%）、健康ノート（15%）
受講生へのメッセージ	毎週欠かさず健康ノートの記入をし、自分自身の日常生活を見直しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

健康運動実践指導者養成用テキスト、健康生活とスポーツ科学（エスアイエス,2018）他、授業担当者（市丸）が作成した資料

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツ栄養学 Sports Nutrition	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉村俊亮
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コース共通				2	曜日・時限	月曜日・3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

スポーツ選手にとって食事とは、一日の中の数少ない楽しみの一つである。しかし、スポーツ選手にとっての食事は、減量や増量、早期の疲労回復、パフォーマンスアップなどにも親密に関わってくる。スポーツ選手がより良い成果を上げられるように、栄養についての基礎知識を学び、人体やトレーニングとの関連などの応用についても考えられるように土台を築いていく。
実務者経験：2012年2月～2019年12月Personal Body Management株式会社、2020年1月～現在株式会社AND-U代表取締役、日本および海外（ドイツ・トルコ・スペイン・アメリカ・イギリス）で一般の方やアスリートのコンディショニングにおけるトレーニング・栄養サポートを行う

【到達目標】

・五大栄養素について説明できる
・エネルギー機構について説明できる

授業計画・内容	
1回目	栄養の概念について説明ができる
2回目	（目標①）消化吸収の過程と栄養素の体内動態について説明ができる
3回目	（目標①）糖質の種類と消化吸収について説明ができる
4回目	（目標②）糖質の代謝系について説明ができる
5回目	（目標②）アミノ酸の種類と代謝系について説明ができる
6回目	（目標②）たんぱく質の栄養について説明ができる
7回目	（目標②）脂質の栄養について説明ができる
8回目	（目標②）脂質の種類と代謝系について説明ができる
9回目	（目標②）エネルギー代謝について説明ができる
10回目	（目標③）脂溶性ビタミンの栄養について説明ができる
11回目	（目標③）水溶性ビタミンの栄養について説明ができる
12回目	（目標③）ミネラル（Ⅰ群）の栄養について説明ができる
13回目	（目標③）ミネラルの栄養（Ⅱ群）について説明ができる
14回目	期末試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	（目標①）栄養素の消化吸収の仕組みについて復習が必要です （目標②）三大栄養素の働きについて復習が必要です （目標③）微量栄養素について復習が必要です
評価方法	試験　70点（中間50点＋期末50点＝100点×0．7） 授業態度　15点（減点方式、1講義につき－1点） 出席点　15点（1講義につき1点） 計　100点
受講生へのメッセージ	勉強は暗記する学生が多いですが、暗記すると時間の経過とともに忘れてしまいます。 暗記ではなく、理解することに努めて、一緒に勉強を楽しんでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

リファレンスブック

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツ障害 (Theory for Sports Injury)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	平本宏樹
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	月曜日・4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

スポーツ障害の内容は、身体の部位別に大別され、更にスポーツ傷害と外傷の怪我別に分けられる。まずは、スポーツ障害と外傷の違いを理解し、スポーツ現場で関わることが多い疾患についての理解を深める。そして、スポーツ外傷に対して、適切な救急対応と応急処置ができ、スポーツ現場でチームスタッフ・選手の命を守れるスポーツ指導者を目指す。更に、スポーツ障害・外傷の症状に応じたテーピングを選択し施行できるようになる。

※実務経験：2017年4月~2018年12月、社団法人 鎮誠会 東金整形外科 リハビリテーション科 理学療法士
2019年1月~2022年12月、レノファ山口FC トップチーム フィジオセラピス 主業務は、メディカル・アスレティックリハビリテーション、トレーナー業務全般（テーピングなど）

【到達目標】

各部における、スポーツ障害・障害を理解し、その怪我に対して、適切な応急処置とテーピングが実施できる。

授業計画・内容	
1回目	授業のオリエンテーション（自己紹介、授業内容、授業形態、実技テスト、筆記テストなど）
2回目	スポーツ障害・外傷について
3回目	スポーツ外傷の救急対応と応急処置について①開放性損傷に対する応急処置
4回目	スポーツ外傷の救急対応と応急処置について②非開放性損傷に対する応急処置
5回目	テーピング総論
6回目	テーピング各論① 足部アーチ、踵部、アキレス腱に対するテーピング （25mm非伸縮 アンダーラップ 50mm伸縮 50mmEL）
7回目	テーピング各論② 足関節の基本テーピングⅠ （アンダーラップ 38mm非伸縮 50mm伸縮 50mmEL）
8回目	テーピング各論③ 足関節の基本テーピングⅡ （アンダーラップ 38mm非伸縮 50mm伸縮 75mm伸縮 50mmEL）
9回目	テーピング各論④ 膝関節に対するテーピング （アンダーラップ 75mm伸縮）
10回目	テーピング各論⑤ 腰部、大腿部の肉離れに対するテーピング （38mm非伸縮 50mm非伸縮 50mmEL）
11回目	テーピング各論⑥ 肩関節に対するテーピング （75mm伸縮）
12回目	テーピング各論⑦ 肘、手関節、手指に対するテーピング （アンダーラップ 12mm非伸縮 25mm非伸縮 50mm伸縮 50mmEL）
13回目	実技練習＋実技テスト （アンダーラップ 38mm非伸縮 50mm伸縮 50mmEL）
14回目	筆記テスト
15回目	筆記テスト返却、実技・筆記テスト解説
準備学習 時間外学習	①各部位の怪我に対する知識が必要 ②実技習得に向けての自主練習が必要
評価方法	実技テスト（50点）＋筆記テスト（50点） （授業時の提出課題も考慮する）
受講生へのメッセージ	スポーツに関わる仕事をするなかで、怪我の場面に遭遇し、スポーツ障害・外傷の知識が必要となることがあります。 その際に、自身を守り、身近な人の命を守るためには、正しい知識がなければなりません。 スポーツ障害の授業を通して、スポーツ障害・外傷の理解を深め、更に症状に対して適切な応急処置とテーピングができるように努めて行きましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

アシックステーピングテキスト、はさみ、テーピング（授業時に配布）

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	トレーニング指導者基礎講座 Basic Seminar for JATI-ATI	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田中 快治
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本トレーニング指導者協会認定のトレーニング指導者資格取得を目指した授業を行なっていく。知識を身につけるだけでなく、専門用語が多いテスト問題を解けるレベルになるようにテストとテキストを使用した学習を繰り返し行なっていく。また、昨年は基礎科目を落とすものがでたため、より深い専門科目を学びながら基礎科目の復習の時間を確保し、より理解を深めていく。

【到達目標】

・日本トレーング指導者協会認定トレーニング指導者の試験が解けるレベル

授業計画・内容	
1回目	①筋力トレーニングのプログラム作成ができるP38～
2回目	②筋力トレーニングの効果について説明できる
3回目	③筋力トレーニングのプログラムの条件設定ができる
4回目	【確認テスト】筋力トレーニングについてテスト問題が解ける
5回目	①パワーの基本概念がわかるP54～
6回目	②パワー向上トレーニングのプログラム戦略が立てられる
7回目	【確認テスト】パワー向上トレーニングについてテスト問題が解ける
8回目	①有酸素性持久力向上トレーニングの身体の適応について理解するP68～
9回目	②無酸素性持久力向上トレーニングの身体の適応について理解する
10回目	【確認テスト】持久力向上トレーニングについてテスト問題が解ける
11回目	①スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成P78～
12回目	②オープンスキルとクローズドスキルの違いを理解する
13回目	【確認テスト】スピード向上トレーニングについてテスト問題が解ける
14回目	テスト
15回目	テスト振り返り
準備学習 時間外学習	日本トレーニング指導者協会のテキストを読んでおく 生理学、解剖学については1年次の復習
評価方法	筆記テストと授業態度で評価
受講生への メッセージ	基礎的なトレーニング科学を学ぶことができます。理論的な背景を理解することで、効果的なトレーニングを指導することができます。流行っているとか、有名人が行っているトレーニングではく、理論的な効果を理解してプログラムを処方できるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

大脩館書店・JATI認定トレーニング指導者オフィシャルテキスト トレーニング指導者テキスト「実践編」

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	トレーニング科学 Training Science	必修選択	必修	年次	2	担当教員	片井 忠
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日・3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

トレーナーとして必要なトレーニング方法の説明ができ、プログラムの作成方法を学ぶ

【到達目標】

トレーニングの知識だけでなく様々なクライアントへプログラムを作成出来るようになる

授業計画・内容	
1回目	遺伝子と環境因子について説明できる
2回目	筋生理学について説明できる
3回目	トレーニング計画の立案について説明できる
4回目	筋力トレーニングのプログラムを作成できる①
5回目	筋力トレーニングのプログラムを作成できる②
6回目	パワー向上トレーニングのプログラムを作成できる
7回目	中間テスト
8回目	AT・Vo2Max・OBLA・カルボーネン法
9回目	持久力向上トレーニングのプログラムを作成できる
10回目	スピード向上トレーニングのプログラムを作成できる
11回目	柔軟性向上トレーニングのプログラムを作成できる
12回目	特別な対象のためのトレーニングのプログラムを作成できる
13回目	障害の受傷から復帰までのトレーニングのプログラムを作成できる
14回目	期末テスト
15回目	返却週
準備学習時間外学習	
評価方法	筆記テスト100%
受講生へのメッセージ	トレーニングについて学び 現場に出たときにトレーナーとして活躍できるようになりましょう

【使用教科書・教材・参考書】

JAT1 トレーニング指導者テキスト実践編

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Bレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	2	担当教員	Burns Matthew
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日4限目・木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日常生活での情報・説明やまとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明・用件を伝えることができる。

【到達目標】

相手に質問をする。また質問に答えることができる。自己紹介をし、知り合いになることができる。
親戚へのメールを読む、また書くことができる。
自分の持ち物について述べることができる。ネット広告を読む、また書くことができる。
助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。
ビル内の道順を尋ねる。また教えることができる。求職申し込みを読む、申込書を書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する
2回目	「間接疑問文」を使って、人に質問をする。また質問に答える練習をする
3回目	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する
4回目	誰かと知り合いになるためのメールを書く
5回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるために必要なこと」・前期発表と連動する内容
6回目	現在進行形を使って持ち物について話す
7回目	現在完了形を使って持ち物やその機能などについて話す
8回目	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使ってディスカッションをする
9回目	欲しいものについての広告を書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「出かける時の持ち物について」・前期発表と連動する内容
11回目	冠詞に注意しながら、自分の町について尋ねる、また質問に答える練習をする
12回目	[would/could/should]を使って、他の場所への生き方について話す
13回目	建物内の道案内の場面での会話を練習する
14回目	求人に対して志望動機を書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」・前期発表と連動する内容
準備学習時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE　3

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Cレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	2	担当教員	金子知恵・Dong Enling Joyce
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日4限目・木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。
毎日していることについて話すことができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。
今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	be動詞、代名詞の所有格を使って、知人・家族について話す
2回目	「～のもの」を表す表現を使って、所有物について話す
3回目	挨拶をして会話を始める練習をする、興味や驚きを表す表現を練習する
4回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
5回目	Time to Speak：スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて」・前期発表と連動する内容
6回目	[Wh-question]を練習する。一般動詞の疑問文、否定文を使って、習慣・ルーティンについて質問する、返答する
7回目	指示代名詞を使って、仕事や勉強をする空間について話す・質問する
8回目	意思疎通に問題があったことを説明する、繰り返しを求める表現を練習する
9回目	ポッドキャストについての意見を読む、書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」・前期発表と連動する内容
11回目	「現在進行形」を使って、今まさに起こっていることについて話す
12回目	「現在進行形」「現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す
13回目	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する
14回目	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る」・前期発表と連動する内容
準備学習時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 2

2023年度 授業概要

学 科 ： スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	グローバルコミュニケーションA Dレベル Global communication A	必修選択	必修	年次	2	担当教員	奥井裕紀子・吉崎かをる
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	火曜日4限目・木曜日3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【到達目標】

個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。
友達や家族について表現することができる。友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。
家や家具について話すことができる。ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	be 動詞(am, are)を使って自己紹介（国籍や出身）する、または出身地を尋ねる会話を練習する
2回目	疑問代名詞[What]を使って、自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く
3回目	ホテルにチェックインする際の会話を練習する
4回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く
5回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と連動する内容
6回目	be動詞を使って、家族構成について話す
7回目	be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する
8回目	年齢や誕生日について聞く、話す
9回目	写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く
10回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と連動する内容
11回目	名詞の所有を表す['s] と[s']を使って、自分の家について話す
12回目	[it is]を使って、家具について話す
13回目	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する
14回目	ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く
15回目	Time to Speak：スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「新居の家具を選ぶ」・前期発表と連動する内容
準備学習 時間外学習	オンデマンド授業
評価方法	授業内発表
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1

2023年度 授業概要

学 科 ：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	デザイン Design	必修選択	必修	年次	2	担当教員	島村紀博
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分	前期
コース	コース共通					曜日・時限	水曜日・1/2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

広報活動等に必要な、宣材の制作等をイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、応用としてイラストレーター、フォトショップを使用して広告や名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。

【到達目標】

イラストレーター、フォトショップを使用して広告や名刺のデータを制作して印刷物として入稿できるまでになる。

授業計画・内容	
1回目	photoshopのツールの紹介と、photoshopの基本的な使い方の説明、画像の解像度とサイズを理解する。
2回目	photoshopのスタンプツール、スタンプツールを使用して画像の画像の修正作業を行う。修正の際に必要になる歪みツールや変形ツールを覚える。
3回目	photoshopの影付け、用意した写真に影をつける、パスを引いて選択範囲を読み込み変形ツールを使用して、リアルなガウスのぼかしを使用して影付けを覚える。
4回目	photoshop合成と色合わせ、見本に合わせて、今までの技術を総合的に使用して合成と色合わせを行う、色合わせは調整レイヤーを使用して行う。
5回目	前回の課題の続きとチェック
6回目	photoshopの合成課題、前回の課題に引き続き色わせと合成課題、今回は更に複雑な合成に挑戦する。その際に効率のよい合成技術を身に付ける。
7回目	前回の課題の続きとチェック
8回目	photoshop商品にロゴマークを入れる、変形ツールや選択範囲を上手く使い商品写真にロゴマークを入れ、商品の色を色相と彩度を利用して変更する。
9回目	前回の課題のチェック
10回目	広告の制作、以前制作したロゴマークを使用して仮想の広告ポスターを制作する。コンセプトとラフの制作
11回目	制作したラフスケッチをスキャナーにてスキャニングして、イラストレーターで清書する。
12回目	広告を制作する際のデザインと文字組み、名刺のデザインを考えて文字の配置の基礎を学ぶ。
13回目	広告制作の続き、画像配置等の製作作業
14回目	広告の制作続き、完成後プリントアウトして校正作業をする。
15回目	すべての課題のチェックと評価
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 20% ■受講態度 30% ■各課題事に点数を付けた平均で評価いたします。50%
受講生へのメッセージ	広告やポスター、名刺など色々なもの制作に使用するソフトです。基礎をしつかりと学び活用していけるように努力をしてください。また制作する際にはショートカットを使用して作業効率上げるために忘れないようにしっかりとノートを取るようにしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	必修選択	必修	年次	2	担当教員	土橋恵秀
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	スポーツトレーナー					曜日・時限	水曜日・3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

身体運動の仕組みについて、力学的な観点から学修していく。力学、と言われてしまうと自信のない生徒も多いと思われる。その点を考慮し、なるべく平易でわかりやすい授業を心がけるつもりではある。ただし、基礎的なことは覚えてもらうしかない、ということもあるので学生自身の努力もまた必要である。
単に力学的な観点だけでなく、身体運動という点から新たな知識を取り入れてもらうことも予定している。

【到達目標】

1. 力学の基礎概念を理解し、並進運動と回転運動のメカニズムを説明することができるようになる。
2. 人体に作用する力とモーメントを算出し、そのはたらきを説明することができるようになる。
3. 力学原理に基づき、身体運動を説明できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	バイオメカニクスとは（イントロダクション）
2回目	ニュートンの法則　1
3回目	ニュートンの法則　2
4回目	ニュートンの法則　3
5回目	作用反作用の法則
6回目	運動量の保存
7回目	前半の復習
8回目	回転運動のメカニズム
9回目	回転運動の運動学
10回目	流体力学1
11回目	流体力学2
12回目	後半復習
13回目	実験1
14回目	実験2
15回目	データ分析
準備学習時間外学習	特になし
評価方法	レポート30%　出席50%　授業態度20%
受講生へのメッセージ	バイオメカニクスと聞くだけで苦手だな、と思う学生もいると思います。ですが、スポーツ科学はどんどん発展していく中、この知識を持たずしてスポーツ界に関わることはもはやできる環境にはありません。なるべく平易に、興味を持ってもらう様に授業を展開します。大事なことは、興味を持つこと、積極的に関わろうとすること。自分で考えることをあきらめないで、粘り強く取り組んでいくうちに、様々な発見があると思います。実験等と実際にしてみることにより、最先端の研究がどのようなものなのか、実感をしてくれることを望んでいます。ディスカッションを多くし、相互的に理解できるような授業を展開します。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	スポーツ心理学 Sports Psychology	必修選択	必修	年次	2	担当教員	河津　慶太
						実務経験	○
コース	コース共通	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日・4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

この授業では、トレーナーとして選手を育てるために必要となる、指導の方法論（コーチング）や、日々の練習や試合における、選手たちの心理的な問題に対処するための知識や技法（メンタルマネジメント）を学んでいく。そして、習得した知識を自ら考え応用し、実践場面で選手の心理的な状態をモニタリングし、その時の選手に必要な声掛けなどを行えるようになる。

※実務経験：2013年4月～現在に至るまで、一般やプロなどに対する心理サポートを行っている。2017年4月以降は日本パラリンピック委員会の医科学情報サポートスタッフとして、パラリンピック日本代表選手への心理サポートを行っている。

【到達目標】

スポーツ活動継続のための動機づけについての知識や、実力発揮のための基礎的なメンタルマネジメントの知識を学ぶ。目標設定や、自分の注意集中状態をモニタリングする実習などを行う。

＜具体的な目標＞

目標①　動機づけに関する理論、技法（自己決定理論、目標設定理論など）を説明できる

目標②　試合中の実力発揮ための理論や技法（注意集中、リラクセーション、イメージなど）を説明できる

授業計画・内容	
1回目	授業のガイダンス
2回目	スポーツと心，メンタルマネジメントについて
3回目	目標① 人間の欲求，目標設定について
4回目	目標① スポーツにおける動機づけの理論的な背景について（自己決定理論など）
5回目	目標① スポーツにおける動機づけ　動機づけを高める方法論
6回目	目標① スポーツにおける動機づけ　動機づけを高める方法論2
7回目	目標② 実力発揮のためのメンタルマネジメント　リラックス
8回目	目標② 実力発揮のためのメンタルマネジメント　注意集中
9回目	目標② 実力発揮のためのメンタルマネジメント　イメージ
10回目	目標② 実力発揮のためのメンタルマネジメント　自信
11回目	目標② 実力発揮のための心理的コンディショニング
12回目	これまでのまとめ，質疑応答など
13回目	期末課題
14回目	期末試験
15回目	試験返却・評価
準備学習時間外学習	目標①②について、この授業に関しては事例を検討していく作業が多くありますので、それぞれの授業内容に関連する自身の事例をある程度イメージしてもらいたいので、高校時代の自分のスポーツ活動に関して思い出しておいてほしいです。 また、難解な理論等については動画教材を用意していますので、各自復習などに活用すると内容の理解が進むと思います。
評価方法	○授業内課題2回（30%） ○期末課題（30%） ○期末テスト（40%）
受講生へのメッセージ	指導者やコーチにとって、資格試験においてはそれほど重要視されない（点数の比重が軽い）分野ではありますが、実際の現場では必ずと言っていいほどぶつかる問題です。自分自身で対処できる場合と、専門家にお願いしたほうが良い場合がありますので、最低でもその見極めをしないと選手のためになりません。 授業中に課題を設けるときが2回ありますのでその時はできるだけ休まないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	ストレングス＆コンディショニング2 Strength＆Conditioning Ⅱ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	井手　宏法
						実務経験	
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	プロスポーツAIトレーナー					曜日・時限	木曜日・1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

講義と実技を織り交ぜながら、ストレングス＆コンディショニングの応用と実践を学ぶ。
1年次の後期に学んだ内容をベースに多岐にわたる各体力要素の応用理論を理解し、各要素を高めるために必要な各種トレーニングを実践する。また自身が実践指導できる知識とスキルを身につける。

【到達目標】

◎全ての競技に必要なS＆Cの基礎理論と応用理論を理解し、各種トレーニング方法とその指導を身につける
◎現場でS&Cコーチとして、様々な状況下でも指導・対応できる能力を身につける

授業計画・内容	
1回目	ウォーミングアップとクーリングダウンの役割を理解する
2回目	ストレッチングと柔軟性トレーニングを理解し実践指導できる
3回目	レジスタンストレーニングのプログラムデザインを理解する
4回目	レジスタンストレーニング（上肢）を実践し指導できる①
5回目	レジスタンストレーニング（上肢・下肢）を実践し指導できる②
6回目	レジスタンストレーニング（下肢）を実践し指導できる③
7回目	レジスタンストレーニング（下肢・体幹）を実践し指導できる④
8回目	プライオメトリクスを理解する
9回目	プライオメトリクストレーニング（上肢・下肢）を実践し指導できる①
10回目	プライオメトリクストレーニング（体幹・複合）を実践し指導できる②
11回目	スピード・アジリティ・クイックネスを理解する
12回目	スピード・アジリティ・クイックネストレーニングを実践し指導できる①
13回目	スピード・アジリティ・クイックネストレーニングを実践し指導できる②
14回目	テスト
15回目	振り返り
準備学習時間外学習	◎これまでの基礎教科（機能解剖学や生理学など）の復習 ◎授業内容の復習 ◎トレーニングを実践する
評価方法	◎テスト ◎授業態度 ◎出席状況
受講生へのメッセージ	1年次の後期に学んできたことや他の授業で同時に学んでいることがベースとなりますので、復習を忘れずに、日々成長する態度で授業に臨んでほしいと思います。後期に比べ実技を多く織り交ぜながら進めていきたいと考えていますので、自身が動ける身体作り、トレーニングにも精進してください。一方通行にならないよう、皆さんとディスカッションができる授業にしたいと思っています。

【使用教科書・教材・参考書】

特になし

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	プログラムデザイン Program Desigh	必修選択	必修	年次	2	担当教員	鈴木 康信
						実務経験	
		授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コース共通				2	曜日・時限	木曜日・2限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

特異性、過負荷、漸進性などのトレーニングの原則をふまえながらエクササイズを選択しトレーニングの量や強度をなどの負荷を決めることができるようになる。レジスタンストレーニング、プライオメトリックトレーニング、有酸素性持久力トレーニング等の各種トレーニングをクライアントやチームの特性にあわせてプログラム作成することができるようになる。また、作成したプログラムをクライアントやチーム対して適切な指導やコーチングをすることができるようになる、

【到達目標】

科学的根拠に基づき対象や目的に応じた適切な運動プログラムを作成し、これを効果的に指導するための知識と技術をもつ専門家を育成する。目的・対象別のトレーニング計画の立案・作成・指導ができる。
＜具体的な目標＞
目標①プログラム作成に関する知識を説明できる。また、トレーニング計画を作成することができる
目標②プログラムを作成しクライアントに適切なトレーニング法を指導することができる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	プログラムデザインの基礎知識を説明することができる
3回目	レジスタンストレーニングのプログラムデザインの生理学的、バイオメカニクス的特性を説明することができる
4回目	レジスタンストレーニングのプログラムデザインの留意点を説明し作成することができる
5回目	プライオメトリックトレーニングのプログラムデザインの生理学的、バイオメカニクス的特性を説明することができる
6回目	プライオメトリックトレーニングのプログラムデザインの留意点を説明し作成することができる
7回目	スピードおよびアジリティートレーニングのプログラムデザインの生理学的、バイオメカニクス的特性を説明することができる
8回目	スピードおよびアジリティートレーニングのプログラムデザインの留意点を説明し作成することができる
9回目	パワー向上トレーニングのプログラムデザインを説明し作成することができる
10回目	有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザインを説明し作成することができる
11回目	特別な対象のためのトレーニングのプログラムデザインを説明し作成することができる
12回目	総合的なトレーニングプログラムを説明し作成することができる
13回目	ピリオダイゼーションを説明することができる
14回目	前期評価テスト
15回目	評価とフィードバック
準備学習時間外学習	(目標①)前提：この授業を受けるには、レジスタンストレーニングの基本知識が必要です。さらに解剖学、生理学、運動学、トレーニングについて予習が必要です。 (目標②)レジスタンストレーニングのプログラムデザインではエクササイズテクニックの知識が必要になります。 (目標③)プライオメトリクス・スピード・アジリティーのプログラムデザインではエクササイズテクニックの知識が必要になります。。
評価方法	定期テストにて知識・技能の到達評価を行う。 ●授業内評価（30%） ●定期テスト・レポート・小テスト（70%） 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	この授業では理論的なことはもちろんレジスタンストレーニングを中心に各種トレーニングのプログラムデザインの考え方、また科学的根拠に基づいたプログラム作成を行うための基礎をつくりたいと思います。積極的に授業に取り組んでトレーナーとしての能力を高めてもらえればと思っています。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：トレーニング指導者テキスト
参考書：パーソナルトレーナーの基礎知識

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	広告宣伝制作2	必修選択	必修	年次	2	担当教員	今林 佑太
						実務経験	
	Advertising Production Ⅱ	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	スポーツマネジメントテクノロジーコース				4	曜日・時限	木曜日・4/5限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

・映像制作を行うための制作オペレーション（企画、演出、絵コンテの作成、カメラワークの作り方）
・映像制作を行うために必要な撮影知識・技術の習得（一眼カメラ、付属する機材の扱い方）
・Premiere Pro、After Effectsを使用した映像素材の編集とエンコード
実務経験：中小企業を中心とし広告映像を制作

【到達目標】

自分で作成した企画を基に一眼カメラを使用してクオリティ高く訴求力のある動画を計画通りに制作することができるようになる
他者が撮影した素材を編集で演出を加えて、クオリティの高い映像を制作することができるようになる

After Effectsを使用して実写映像素材のみではなく、アニメーション等で素材を作成できるようになる

授業計画・内容	
1回目	Premiere Proの復習（カット、テロップ入れ、モーション）
2回目	一眼カメラの扱い方　復習　環境に応じた設定　三脚を使ったカメラワークの基本
3回目	After Effectsの基本操作
4回目	After Effectsを使用したモーション付きの簡単なテキスト映像の作成
5回目	After Effectsを使用したインフォグラフィックスの作成
6回目	After Effectsを使用したインフォグラフィックスの作成
7回目	After Effectsを使用したインフォグラフィックスの作成
8回目	After Effectsを使用したインフォグラフィックスの作成
9回目	クロマキー合成撮影、　編集ソフト上でのクロマキー処理の方法
10回目	After Effectsでのトラック処理、オブジェクト追従の方法
11回目	After Effectsを使用したオリジナルショートPVの制作（企画）
12回目	After Effectsを使用したオリジナルショートPVの制作（撮影準備）
13回目	After Effectsを使用したオリジナルショートPVの制作（撮影）
14回目	After Effectsを使用したオリジナルショートPVの制作（編集）
15回目	After Effectsを使用したオリジナルショートPVの制作（編集・試写）
準備学習時間外学習	①自分のスマートフォンで出来事を撮影する（横動画を中心に） ②広告映像（TV-CMやTV番組）などから演出やカメラワークを意識して視聴する
評価方法	授業内評価
受講生へのメッセージ	動画制作をするにあたって様々なことを考えないといけないため、頭を使うかと思いますが同じようにPCやカメラなどの精密機器もたくさん使用します故障や紛失があると制作自体に影響してくるため機材は丁寧に扱うように心がけてください。あとは自分が作っていて楽しいものはもちろん、視聴者が見て心が揺さぶられるような映像を作りたいと意欲があれば必ず作れるようになると思います。一緒にがんばりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

2023年度　授業概要

学　科　：スポーツマネジメントテクノロジー科

科目名（英）	マーケティング2 Marketing Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	福田健治
						実務経験	○
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
コース	スポーツマネジメントテクノロジー（コース共通）					曜日・時限	金曜日・3限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1. ウェブ解析と基本的な指標　2. 事業戦略とマーケティング解析　3. デジタル化戦略と計画立案
4. ウェブ解析の設計　5. インプレッションの解析　6. エンゲージメントと間接効果
7. ウェブサイトの解析　8. ウェブ解析のレポーティング

※実務経験：ウェブマーケティング実績22年、GAなどのアクセス解析ツールを活用し、企業の業務改善・売上向上などに従事。ウェブ解析士の資格取得レベルの知識と共に、実際に企業に必要とされているウェブマーケティングの考え方やスキルに関する授業を実施いたします。

【到達目標】

ウェブマーケティング、ウェブ解析に関する以下の基礎知識を習得、共通の用語認識の基に、営業・制作・開発・社内ウェブマスター業務等の遂行・業務効率化を可能にすることを目指します。

授業計画・内容	
1回目	ウェブ解析の重要性とウェブ解析士の仕事について説明ができる
2回目	ウェブ解析と基本的な指標（サイト表示の仕組みとアクセスログについて説明ができる）
3回目	ウェブ解析と基本的な指標（オウンドメディアの指標について説明ができる）
4回目	事業戦略とマーケティング解析について説明ができる
5回目	デジタル化戦略と計画立案について説明ができる
6回目	ウェブ解析の設計（解析の設計）について説明ができる
7回目	ウェブ解析の設計（コンバージョンの設計）について説明ができる
8回目	インプレッションの解析について説明ができる
9回目	エンゲージメントと間接効果（ソーシャルメディアのエンゲージメント）について説明ができる
10回目	エンゲージメントと間接効果（広告の接効果）について説明ができる
11回目	ウェブサイトの解析（オウンドメディアの解析）について説明ができる
12回目	ウェブサイトの解析（インタラクション解析）について説明ができる
13回目	ウェブ解析のレポーティングについて説明ができる
14回目	修了テスト
15回目	修了テスト解説
準備学習時間外学習	特になし
評価方法	修了テスト70%　出席点20点　平常点10点
受講生へのメッセージ	アクセス解析をはじめとしたウェブ解析データを活用し、デジタルマーケティングを通して事業の成果を導く人材、それがウェブ解析士です。 ウェブ解析士は、ウェブ解析スキルを身につけ、データを読み取り、正しい判断ができるスキルを習得することを目標としています。

【使用教科書・教材・参考書】

2023ウェブ解析士認定試験のテキスト

2023年度　授業概要

学　科　：ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰ科

科目名（英）	イベント Event	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	森田　康裕
						実務経験	○
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	前期
ｺｰｽ	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰ					曜日・時限	金曜日・4限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

イベントを実行するための基礎的な企画、準備、実施の流れと管理方法を学びます。また業界で求められる知識＆人材に関しても学び、ビジネスへ活かすための適応力を鍛え、絶えず変化する環境、雇用、多様化するグローバル社会に適応し、成功するために必要な能力の育成に取り組みます。
※実務経験：デザイナー職の傍ら趣味として福岡格闘ゲームオフ対戦会の主催（2014～現行）や公式大会スタッフなどイベント業務に携わる。
2018～2019東京にてプロesportsチーム運営（チームブランディング、イベント統括、選手マネジメント、拠点内装デザイン、SNS管理）に従事。
2019より地元福岡にてesports事業開始。（2022法人化）

【到達目標】

・資格を取得する
・イベントの基本的な構成の把握、提案力を身に付ける
・イベントで必要となる機材の知識及び基本操作を身に付ける
・マーケティングやビジネス環境について自分なりに分析、評価、提案ができる

授業計画・内容	
1回目	本講義の目的と概要説明、現状理解度の確認
2回目	イベントに関する知識と技術、求められる役割を説明できる
3回目	イベントを構成する組織と開催意義、ターゲット分析と集客を説明できる
4回目	現場での知識と動き、実際に使用する機材を説明できる
5回目	企画運営の流れ、イベント資料制作について説明できる
6回目	企画書制作実習
7回目	理解度チェック
8回目	放映権ビジネスと観戦者の理解について説明できる
9回目	マーケティングと顧客ロイヤルティを説明できる
10回目	現状と今後の願望
11回目	プレゼン用企画書制作実習
12回目	企画書プレゼン
13回目	イベント開催へ向けた課題制作のアドバイス及び実習
14回目	イベント開催へ向けた課題制作のアドバイス及び実習
15回目	課題プレゼン発表共有、討議
準備学習 時間外学習	準備：イベントスキームの大まかな把握 時間外学習：授業内容の復習及び業界調査、資格試験勉強
評価方法	出席、企画書内容、プレゼン内容により評価。状況に応じて実技テストやディスカッションを行う。 ①出席20% ②企画書内容40% ③プレゼン内容40%
受講生への メッセージ	基礎やアイデアの発想法を学びイベント分野の理解度を上げる講義です。 ディスカッションなどで自身の考えを言語化し、実習で実践力を鍛える内容を予定しています。

【使用教科書・教材・参考書】

イベント検定　公式テキスト